

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年8月29日 (2013.8.29)

【公表番号】特表2013-516220(P2013-516220A)
 【公表日】平成25年5月13日 (2013.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報2013-023
 【出願番号】特願2012-547068(P2012-547068)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/05 (2006.01)

A 6 1 N 1/362 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/05

A 6 1 N 1/362

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月9日 (2013.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織へのリード線の接続を評価するシステムであって、
 リード線本体の遠位端部に近接して配置された電極と、
 前記リード線本体の前記遠位端部付近に配置された固定要素であって、前記リード線本体の前記遠位端部を前記組織に固着させるように構成された固定要素とを含むリード線本体と、
 前記電極と前記固定要素との間のエネルギー量を示す信号を生成するように構成されたメータと、
 前記信号に応じて、前記リード線と前記組織との間の接続度を判断するように構成された電子制御装置とを含むシステム。

【請求項 2】

前記電子制御装置が、前記接続度を判断する際に、前記エネルギー量を閾値と比較するようにさらに構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記電子制御装置が、前記接続度を判断する際に、第 1 の時間と第 2 の時間の前記エネルギー量の差分を計算するようにさらに構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記電子制御装置が、前記接続度を判断する際に、前記エネルギー量の前記差分を閾値と比較するようにさらに構成されている、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記エネルギー量が、前記電極と前記固定要素との間のインダクタンスを含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 6】

前記エネルギー量が、前記電極と前記固定要素との間の静電容量を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 7】

前記電極がリング電極を含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 8】

前記固定要素がらせんを含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 9】

組織へのリード線の接続を評価する方法であって、

リード線本体の遠位端部に近接して配置された電極と、前記リード線本体の前記遠位端部付近に配置された固定要素との間のエネルギー量を示す信号を生成するステップであって、前記固定要素が、前記リード線本体の前記遠位端部を前記組織に固着させるように構成されている、ステップと、

前記信号に応じて前記リード線と前記組織との間の接続度を判断するステップとを含む方法。

【請求項 10】

前記判断するステップが、前記エネルギー量を閾値と比較するサブステップを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記判断するステップが、第 1 の時間と第 2 の時間における前記エネルギー量の差分を計算するサブステップを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記判断するステップが、前記エネルギー量の前記差分を閾値と比較するサブステップをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記エネルギー量が前記電極と前記固定要素との間のインダクタンスを含む、請求項 9 ～ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

前記エネルギー量が前記電極と前記固定要素との間の静電容量を含む、請求項 9 ～ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

前記電極がリング電極を含む、請求項 9 ～ 14 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 16】

前記固定要素がらせんを含む、請求項 9 ～ 15 のいずれか一項に記載の方法。